

川口川整備事業及び用地測量説明会 開催記録

1 開催概要

日 時 : 令和 7 年 11 月 26 日 (水) 午後 6 時 30 分～午後 7 時 30 分
場 所 : 川口町中部会館 (八王子市川口町 921)
来場者 : 29 名

2 説明会来場者からの主なご質問と回答

1) 事業内容について

- Q1 宮田橋下流左岸の旧河川敷を含めて整備することのだが、増水時に旧河川敷の方に水がきて溢れる危険性はないか。
- A1 旧河川敷を有効利用し、緩傾斜護岸を整備する予定としている。
(補足：当該箇所は、整備により河川断面が広がり、増水時の水位が下がることが想定されるが、洪水が安全に流れるよう河川断面などを検討する。)
- Q2 山王橋から宮田橋までの区間は、現在、生物の生息の場としてよい環境であるが、河川工事によって、瀬や淵、土手の形状が変わってしまうのか。
- A2 整備する護岸や管理用通路の配置によっては、瀬や淵、土手の形状が変わってしまう可能性があるが、なるべく現在の河川環境が復元できるよう検討させていただく。
- Q3 令和 6 年 8 月末の大雨により片井戸新橋上下流右岸で溢水*が発生したが、現在の河川状況のままだと再度溢水など、被災してしまう可能性が多いにある。河川工事が開始されるまでの期間で暫定的な対策ができないか。
※溢水 (いっすい) …河川から水があふれること。
- A3 ご指摘のとおり、現在の河川状況では、再度被災してしまう恐れがあり、河川工事も開始されるまで時間がかかってしまう。これまでも河床を掘り下げるなど、暫定的な対策を実施してきているが、ほかの対策方法を含め、今後検討させていただく。
- Q4 片井戸新橋上流左岸に流入する水路があるが、令和 6 年 8 月末の大雨で溢水している。この水路も河川工事に合わせて改修する予定はあるか。
- A4 河川工事で川口川の河川断面が広がれば、水路から水が流入しやすくなり、より安全となる。なお、護岸と接続する流入口の高さや幅は、水路を管理している八王子市と協議し検討させていただく。
- Q5 現状、河川の両岸に通れる通路がない箇所もあるが、整備する管理用通路は、全ての範囲に両岸設置されるのか。
- A5 整備する管理用通路は、下流から上流まで両岸ともに設置する計画としている。なお、通路幅は、最大 4.0m で検討している。

2) 用地測量について

Q1 用地測量を実施する範囲はどこまでになるのか。

A1 都市計画線にかかる土地、また、その土地に隣接する土地となる。

3) その他について

Q1 川口川最下流部の中野橋上流に落差工があるが、下流側の河床が下がり、流水が途切れている状況であるため、魚類が遡上できない。これを解決するための落差工改修の計画はあるか。

A1 ご指摘のとおり、魚類が遡上できない状況は認識している。今後、整備の優先度を考慮しながら、改修等の対策を検討させていただく。

以 上